

講演会⑥

「上野三碑とその時代

—史料からみた古代上野国と律令国家—

渡辺 晃宏 氏(奈良大学文学部 教授)

11月13日(日) 14:00~15:30

上野三碑が建てられた飛鳥・奈良時代は、長い歴史の中で最も盛んに木簡が用いられ、まさに「木簡の世紀」でした。奈良文化財研究所で長年、都城の木簡研究に携わってこられた、木簡研究の第一人者が、わかりやすく語ります。



復原された平城宮 大極殿
(奈良文化財研究所 提供)

●会場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室

●定員：70名

●参加費：当日の観覧券が必要です。

企画展観覧料（常設展も含む）：一般 800円

常設展観覧料：一般 300円

●申込方法：10月13日(木)より、電話による事前申込が必要です。

027-346-5522(開館日の9:30~17:00)

※新型コロナウイルス感染症の拡大などの社会情勢により、内容を変更・中止する場合があります。

群馬県立歴史博物館

高崎市綿貫町992-1(群馬の森内)

TEL. 027(346)5522

